

仕 様 書

調達品目	生体情報モニタリングシステム（セントラルモニタ）
調達数量	1 式 （1 病棟・2 病棟・リハビリ室）
	①医用テレメータ②ベッドサイドモニター③送信機④その他周辺機器一式

調達品目は、以下の仕様による同等品であること。

1. 製品仕様

医用テレメータ （セントラルモニタ）	（参考機器：日本光電工業株式会社 WEP-1450） 〔1 病棟〕受信機 8 床分組込済 1 〔2 病棟〕受信機 8 床分組込済 1 〔リハビリ室〕受信機 4 床分組込済 1
	※機能・性能等に関する詳細な仕様は別添のとおり。
周辺機器類	（数量）
セントラルモニタ用スタンド	2（参考機器：日本光電工業株式会社 DM-140P）
セントラルモニタ用架台	1（参考機器：日本光電工業株式会社 DM-140P）
セントラルモニタ用 レコーダユニット	3（参考機器：日本光電工業株式会社 WS-140P）
セントラルモニタ用 バッテリーパック	3（参考機器：日本光電工業株式会社 SB-950P）
ベッドサイドモニター	8 レコーダ組込済（参考機器：日本光電工業株式会社 PVM-4761）
ベッドサイドモニター用 架台	8（参考機器：日本光電工業株式会社 KC-470P）
アダプタ	8（参考機器：日本光電工業株式会社 DH-470P）
ベッドサイドモニター用 バッテリーパック	8（参考機器：日本光電工業株式会社 SB-470P）
ベッドサイドモニター用 送信機	8（参考機器：日本光電工業株式会社 ZS-600P）
ホルダ	8（参考機器：日本光電工業株式会社 DI-470P）
送信機	2（参考機器：日本光電工業株式会社 ZS-630P）
電極リード線（3 電極） BR-933P	2（参考機器：日本光電工業株式会社 K903A）
バイタルサインテレメータ （搬送用携帯型モニタ）	4（参考機器：日本光電工業株式会社 GZ-140P）
電極リード線（3 電極） BR-933P	4（参考機器：日本光電工業株式会社 K903A）
ディスプレイプロンプ 携帯端末（カメラシステム）	1（参考機器：日本光電工業株式会社 TL-271TM-24） 1 式（17 台）
生体情報モニタ携帯端末 参照システム	1（参考機器：日本光電工業株式会社 QP-988P）※ 5 年間無料保証

2. 付帯事項

納入場所	岩手県岩手郡雫石町 1 6 番地 2 4 3 いわてリハビリテーションセンター （1 病棟・2 病棟・リハビリ室）
納入期限	令和 8 年 3 月 26 日（木）
納入時対応	取付・設置作業を行うこと。設置後には操作説明を行うこと。
機器要件	・1 の製品は製品化されていること。 ・1 の製品のうち医療機器に関しては、納入時点で薬事法に定められる製造の承認を得ている物品であること。
保証	納入後 6 年以内に発生した故障については、メーカー保証により無償にて修理調整等を行うこと。（生体情報 モニタ参照システムは 5 年） ただし、明らかに当方の瑕疵による場合についてはこの限りではありません。

別紙 性能、機能及び技術等要件

「生体情報モニタリングシステム」は、セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、送信機、バイタルサインテレメータ含む子機、PCや携帯端末の参照システムとカメラシステムからなり、以下の要件を満たすこと

1	病棟に設置する生体情報モニタリングシステムに関して以下の要件を満たすこと。
1-1	セントラルモニタに関しては、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	1病棟、2病棟の各病棟に設置するセントラルモニタはベッドサイドモニタ、送信器、患者搬送用携帯型モニタを含む子機でモニタリングしている患者情報を最大8人表示出来ること。
1-1-2	セントラルモニタを設置する為のスタンド、又は架台を有すること。
1-1-3	セントラルモニタは対角18.5インチ以上の液晶ディスプレイを有していること。
1-1-4	セントラルモニタは以下の測定項目の数値表示が可能であること。※本仕様の構成品以外のオプション品を加える場合も含む 心拍数/VPC数/STレベル/呼吸数/非観血血圧値(最高・最低・平均)/経皮的動脈血酸素飽和度値/体温/呼吸終末期二酸化炭素分圧/脈拍数ピーク圧/PEEP/吸気フロー/呼気フロー/フロー/吸気分時換気量/吸気自発分時換気量/分時換気量/自発分時換気量/吸気一回換気量/一回換気量/一回換気量(kg当たり) /総呼吸回数/自発呼吸回数/吸気時間/呼気時間/吸気時間率/I:E比/トータルリーク/患者リーク/リーク率/患者トリガー率/酸素消費流量/酸素濃度
1-1-5	セントラルモニタ端末で測定している患者レビューデータの波形記録することが可能なサマルアレイレコードを有すること。
1-1-6	セントラルモニタは停電試験時に備え、バッテリー駆動（1時間）を行えること。※新品、満充電の場合
1-1-7	セントラルモニタで退床した患者のデータは最大14日間保存でき、再入床可能であること。
1-1-8	病棟では医療安全を考慮し、セントラルモニタと送信機の無線による通信は電波法に定められた小電力医用テレメータに準拠し、デジタルA型であること。
1-2	ベッドサイドモニタに関しては、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	ベッドサイドモニタでは、心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度/非観血血圧の測定が可能であること。
1-2-2	非観血血圧測定において患者様の負担が少ない直線加圧測定方式を有していること。
1-3	ポータブルタイプの子機（送信器、バイタルサインテレメータ）に関しては、以下の要件を満たすこと。
1-3-1	送信器（測定項目：心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度）に関しては、下記の以下の要件を満たすこと。
1-3-1-1	1台で心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度の測定が可能であること。患者携帯ができるように専用のケースを有していること。
1-3-2	搬送用携帯型モニタ（測定項目：SpO2、心電図、脈拍数、非観血血圧）に関しては、下記の以下の要件を満たすこと。
1-3-2-1	1台で心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度/非観血血圧の測定が可能であること。患者携帯ができるように専用のケースを有していること。
1-3-2-2	搬送用携帯型モニタでセントラルモニタのアラームの消音、アラーム設定変更等が行える双方向通信である事。
1-3-2-3	患者が携帯できる大きさ、重さであることより、患者に付帯できる専用ポシェットを有しており、ポータブルタイプとして、幅140mm×高さ100mm×奥行45mm以下、重さ400g以下であること。
1-3-2-4	搬送用携帯型モニタ側で入退床機能を持っていること。（双方向通信が可能なこと）
1-3-2-5	アラームが発生した場合、子機本体にて音、表示、LEDで知らせる機能を有し、アラームインジケータを有していること。
1-3-2-6	病棟内外の移動を考慮し、子機本体側でデータ保存はトレンドリスト/不整脈リコール/アラーム履歴/長時間波形保存機能を有すること。アラームが発生した際の履歴をリストとして過去1000件アラーム履歴が保存できること。
1-3-2-7	送信器モード、モニタモードを切り替えができること。
2	リハビリ室に設置する生体情報モニタリングシステムについて以下の要件を満たすこと
2-1	セントラルモニタに関しては、以下の要件を満たすこと。
2-1-1	リハビリ室に設置するセントラルモニタは患者搬送用携帯型モニタを含む子機でモニタリングしている患者情報を最大4人表示出来ること。
2-1-2	セントラルモニタを設置する為の架台を有すること。
2-1-3	セントラルモニタは対角18.5インチ以上の液晶ディスプレイを有していること。

2-1-4	セントラルモニタは以下の測定項目の数値表示が可能であること。※本仕様の構成品以外のオプション品を加える場合も含む 心拍数/VPC数/STレベル/呼吸数/非観血血圧値(最高・最低・平均)/経皮的動脈血酸素飽和度値/体温/呼吸気終末期二酸化炭素分圧/脈拍数ピーク圧/PEEP/吸気フロー/呼気フロー/フロー/吸気分時換気量/吸気自発分時換気量/分時換気量/自発分時換気量/吸気一回換気量/一回換気量/一回換気量(kg当たり) /総呼吸回数/自発呼吸回数/吸気時間/呼気時間/吸気時間率/I:E比/トータルリーク/患者リーク/リーク率/患者トリガー率/酸素消費流量/酸素濃度
2-1-5	セントラルモニタ端末で測定している患者レビューデータの波形記録することが可能なサマルアレイレコーダを有すること。
2-1-6	セントラルモニタは停電試験時に備え、バッテリー駆動（1時間）を行えること。※新品、満充電の場合
2-1-7	セントラルモニタで退床した患者のデータは最大14日間保存でき、再入床可能であること。
2-2	搬送用携帯型モニタ（測定項目：SpO2、心電図、脈拍数、非観血血圧）に関しては、下記の以下の要件を満たすこと。
2-2-1	1台で心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度/非観血血圧の測定が可能であること。患者携帯ができるように専用のケースを有していること。
2-2-4	患者が携帯できる大きさ、重さであることより、ポータブルタイプとして、幅140mm×高さ100mm×奥行45mm、重さ400g以下であること。
2-2-5	搬送用携帯型モニタ側で入退床機能を持っていること。（双方向通信が可能なこと）
2-2-2	搬送用携帯型モニタでセントラルモニタのアラームの消音、アラーム設定変更等が行える双方向通信であること。
2-2-6	リハビリ中でも生体情報の変化に気づけるように、アラームが発生した場合、子機本体にて音、表示、LEDで知らせる機能を有し、アラームインジケータを有していること。
2-2-7	リハビリ室内外の移動を考慮し、子機本体側でデータ保存はトレンドリスト/不整脈リコール/アラーム履歴/長時間波形保存機能を有すること。アラームが発生した際の履歴をリストとして過去1000件アラーム履歴が保存できること。
3	携帯端末参照システムに関して以下要件を満たすこと。
3-1	サーバに関しては、院内にある既存サーバを使用するのではなく、必ず新品を用意する事。その際のサーバ設置費用も含むこと。
3-2	携帯端末参照システムは既存の院内の無線LANを使用し、17台以上の端末と接続を行えること。
3-3	セントラルモニタにて表示している生体情報の波形、数値を参照できること。
3-4	OSは、Windows Sever 2025 Standardに対応していること。
4	PC端末での患者情報参照システムに関して以下要件を満たすこと。
4-1	ネットワーク上のPC端末で病棟、リハビリ室で入床しているセントラルモニタにてモニタリング中の患者と退床した後の患者データが参照できること（セントラルモニタにて最大表示人数分）
4-2	患者データはトレンド、バイタルサインの数値情報のリスト、アラームイベント、アラーム履歴、長時間波形、不整脈リコール、ST波形、STレビューの参照、印刷が行えること
5	カメラシステムに関して以下要件を満たすこと。
5-1	携帯端末参照システムで使用している携帯端末にてカメラで撮影している映像を参照できること。
5-2	病室で設置するカメラは移設が可能で、無線での接続が行える機種であること。
6	その他事項について以下の要件を満たすこと
6-1	医療安全面を考慮（電波切れリスク）し、セントラルモニタとベッドサイドモニタ、送信器の子機を接続する為のテレメータのアンテナはマルチアンテナ方式（ホイップアンテナ方式）で接続すること。アンテナ工事は、納入業者が施工している状況にすること。※工事費用を含むこと。
6-2	双方向通信方式に関しては、院内の無線LANを使用すること。
6-3	本入札での使用機器であるセントラルモニタに加え、送信器、ベッドサイドモニタ、搬送用携帯型モニタ等の子機、ipad参照システム（サーバ）PC端末での患者情報参照システム（サーバ）に関しては、メーカーが定める保証期間分の修理保証を無償とすること。※年1回以上の点検を行い、機器点検後には点検報告書を提出も含める事。
6-4	納入後6年以内に発生した故障については、メーカー保証により無償にて修理調整等を行うこと。（生体情報モニタ参照システムは5年）ただし、明らかに当方の瑕疵による場合についてはこの限りではないこと。なお、修理発生時の代替機費用、修理費用、点検時の点検費用、定期交換部品費用等も本契約に含めること。
6-5	セントラルモニタでどのようなアラームが鳴っていたか表示するレポート（時間帯のアラームの発生件数、アラームの種類の分析）の出力を行えること。それをもとに安全管理面での講習会を実施できる体制を整えていること。
6-6	システム品や医療機器において修迅速な対応で改善が望めるように国内製造メーカーの製品で修理・保守メンテナンス拠点を全国に構え、365日、24時間受付できる保守体制である事。
6-7	今後、電子カルテが導入された場合は電子カルテとの連携が行える製品であること。※連携費用は本入札とは別途とする。
6-8	セントラルモニタとナースコールが連携する為の費用も含むこと。
6-9	携帯参照端末は17台分用意する事。